

岐阜大学産学連携フェア2017を 開催しました

平成29年10月20日(金)

岐阜大学の研究・技術の発信を通して、企業ニーズとのマッチングの機会を提供し、地域産業界への貢献を高めようといわれた「岐阜大学産学連携フェア2017」。特許関連技術や学会賞などを受賞した研究成果の説明とパネル展示を実施しました。また、岐阜大学地域交流協力会と共同で「秋の特別講演会」を開催。産業界の方々に岐阜大学の研究成果を紹介する良い機会となりました。



岐阜大学地域協学センターの 開所式を開催しました

平成29年10月25日(水)

「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」およびそれに続く「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」を実施・支援する機関として活動している岐阜大学地域協学センター。平成29年10月より新しい建物に移転し、その開所式が10月25日(水)に行われました。地域が直面する課題の解決に向けた対話の場“フューチャーセンター”を行うための「フューチャーセンタールーム」などの設備が新たに備わりました。



カールスルーエ教育大学(ドイツ)と 学術交流協定を締結しました

平成29年10月26日(木)

岐阜大学教育学部とカールスルーエ教育大学は、教員養成に関する組織的・計画的な研究者交流及び教育研究に関する情報交換などを推進するため、学術交流協定を締結しています。このたび、新たに学生交流に関する内容を追加し、更新された協定を締結しました。これにより、国際交流の中で生まれる授業研究や協働教材開発が学生の間にも浸透し、新しい教育内容の構築に発展することを期待しています。



第50回岐阜大学フォーラムを 開催しました

平成29年11月1日(水)

「環境ユニバーシティ宣言」をした11月を環境月間と定め、岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を毎年開催しています。今回は、岐阜県立森林文化アカデミーの横井秀一氏を講師に招き、「森は岐阜の宝もの～この宝を未来に引き継ぐために～」をテーマに、森林の機能や現状について歴史を含めて語られました。また、岐阜大学地域科学部の向井讓教授との対談も行われました。



企業や地方自治体と各種協定を締結しました

平成29年10月から平成30年2月にかけて、4つの協定を締結しました。活力ある地域社会の形成・発展及び人材育成に寄与することを目的に、株式会社岐阜フットボールクラブ(FC岐阜)・下呂市・白川村と協定を締結。さらに、災害発生時に、大学敷地内にあるミニストップと相互に協力して大学構成員と大学に避難してきた地域住民の安全・安定を図ることを目的に、ミニストップ株式会社と協定を締結しました。

株式会社岐阜フットボールクラブと連携に関する協定を締結

平成29年10月27日(金)



下呂市と連携に関する協定を締結

平成29年11月24日(金)



白川村と連携に関する協定を締結

平成30年1月22日(月)



ミニストップ株式会社と連携に関する協定を締結

平成30年2月28日(水)



「JISSE-15学生ブリッジコンテスト」で学生チームが入賞し、報告会を行いました

平成29年11月30日(木)・12月18日(月)

炭素繊維と樹脂を用いたブリッジの製作とその設計方針をまとめたポスターを発表し、順位を競う「JISSE-15学生ブリッジコンテスト」。出場した岐阜大学の学生チームが第2位と第3位に入賞し、昨年度に続き、2年連続の受賞となりました。また、2位のチームは「ベスト荷重賞」を受賞。12月18日(月)には森脇学長への報告会が行われ、学生は「昨年度の反省を踏まえ、軽量化や高強度化に取り組み、結果が出せた」と報告しました。



岐阜大学フェア2017を開催しました

平成29年12月16日(土)

一般の方を対象に、岐阜大学の教育、研究、社会貢献活動を知ってもらおうと毎年実施している「岐阜大学フェア」。会場では、作家の鳴海風氏による「江戸時代の数学『和算』の魅力」と題した特別講演のほか、森脇学長を始めとした本学教員の模擬講義、学生の作品展示やパフォーマンス、各学部・センター等の活動をパネル展示で紹介。高校生や地域の方々約300名にご来場いただきました。



秋の国際月間に国際交流行事を行いました

平成29年11月1日(水)～12月1日(金)

岐阜大学では、毎年11月を「秋の国際月間」と位置付け、様々な国際交流行事を開催しています。11月2日(木)は「留学生及び外国人研究者等との学長主催懇談会」を開催。森脇学長をはじめとする職員と外国人留学生や外国人研究者、その家族などが一堂に会し、親睦を図りました。11月16日(木)は、中国農業大学の李賛東教授を招き、特別講演会「岐阜大学留学と科学研究の基盤構築」を開催。李教授が岐阜に留学することになったきっかけや、岐阜の素晴らしさなどが語られました。11月22日(水)は、アルバータ大学ESL(English as a Second Language)の報告会「UofA※に行ってみよう会」を開催。アルバータ大学(カナダ)に留学した学生が、一連のスケジュールや現地での生活などについて報告しました。

※UofA…University of Alberta



留学生および外国人等との学長主催懇談会の様子



特別講演会「岐阜大学留学と科学研究の基盤構築」の様子



アルバータ大学留学報告会の様子

岐阜大学出前講座(旧早野邸セミナーハウスで開催)を平成30年度も開催します

平成29年度に旧早野邸セミナーハウスにおいて「岐阜大学出前講座」を全8回開催いたしました。全体を通して、のべ376人の方に来場いただきました。平成28年度より開催している本講座は、教育研究の成果を定期的に発信する場や、地域の皆様の学びの場となることを目的としています。毎回のアンケートでも高い評価を得たことから、平成30年度も全6回の出前講座を予定しています。



「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」中間評価で最高の「S」評価を受けました

平成30年2月23日(金)・3月16日(金)

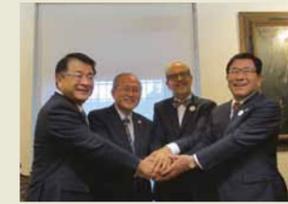
岐阜大学は、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の中間評価において、最高の「S」評価を受けました。「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」の平成28年度評価と、COC+の中間評価がともにS評価であったのは、全国で2大学だけです。3月16日(金)の記者会見では、森脇学長から、COC+中間評価の説明が行われ、今後ますます「地域活性化の中核拠点」として動き出すことが報告されました。



岐阜大学、岐阜薬科大学、サラマンカ大学の三大学間で基本合意を取り交わしました

平成29年11月9日(木)

岐阜大学・岐阜薬科大学・サラマンカ大学(スペイン)の三大学間で基本合意を取り交わしました。この合意では、三大学間で連携して定期的にシンポジウムを開催すること、美濃・伊吹山の薬草に関わる文献調査を行うことが確認されました。第一回のシンポジウムは、サラマンカ大学800周年記念事業の一環として、来春岐阜県で開催される予定です。今回締結した合意書に基づき、三大学の連携を深めていきます。



秋のクリーンキャンパスを実施しました

平成29年11月22日(水)

環境月間行事の一環として「秋のクリーンキャンパス」を実施しました。今年は、教職員や学生ら675名が参加。例年通り本学のキャンパス内に校舎がある岐阜薬科大学の職員や学生も清掃活動に参加し、力を合わせてキャンパス内のごみや落ち葉拾い、放置自転車の整理を行いました。また、キャンパス内の清掃だけでなく、キャンパス周辺にある新堀川の川岸のごみ拾いなども行いました。



平成29年度学位記授与式、修了証書授与式を行いました

平成30年3月13日(火)・25日(日)

3月13日(火)、岐阜大学講堂において、平成29年度岐阜大学大学院連合農学研究科・連合獣医学研究科の学位記授与式が行われ、博士課程20名、論文博士8名が卒業・修了しました。

3月25日(日)は、長良川国際会議場において、平成29年度学位記授与式を行い、学部学生1,349名、大学院学生523名が卒業・修了しました。また、平成29年度岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラムの修了証書授与式も行われ、森脇学長は英語で祝辞を贈りました。本年度は、博士課程2名(インドネシア1名、スリランカ1名)、修士課程12名(日本5名、中国3名、インドネシア3名、バングラデシュ1名)が本プログラムを修了しました。



地方自治体、行政委員会と各種覚書を締結しました

高度な教育専門職を養成する岐阜大学教職大学院は、北方町・岐阜市教育委員会・本巣市教育委員会と「教員の資質向上に向けた連携に関する覚書」を締結しました。学校や地域の中核となる学校管理職の養成や、現職教員が勤務しながら学び、その学びを学校や地域に還元できるよう、各団体との協力・連携を図ります。

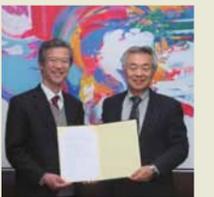
北方町と「教員の資質向上に向けた連携に関する覚書」を締結

平成29年11月21日(火)



岐阜市教育委員会と「教員の資質向上に向けた連携に関する覚書」を締結

平成29年12月22日(金)



本巣市教育委員会と「教員の資質向上に向けた連携に関する覚書」を締結

平成30年1月9日(火)

